笑顔輝く　せたっこ通信

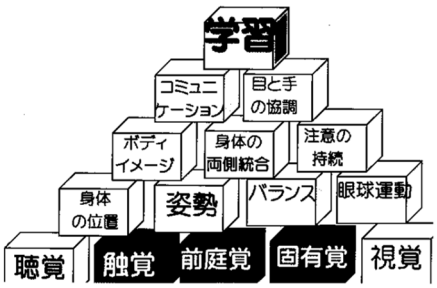
令和５年１０月
大津市立瀬田幼稚園

朝夕はだいぶ涼しくなり、日が暮れるのも早くなってきましたが、日中は本当に暑い日が続き、「今は秋？夏？」と思うほどです。
園庭の銀杏がオレンジ色になり、トンボやバッタを園庭で見たりすると「やっぱり秋になってきているな。」と感じています。
幼稚園の子どもたちは暑さに負けず、季節の移り変わりを感じながら元気いっぱい体を動かして遊んでいます。

『感覚統合』ってどんなこと？

感覚統合とは、「感覚からくる情報を脳が整理し、使えるようにすること」「同時に複数の課題を処理すること」を感覚統合といいます。（例えばボールを目で追って両手でキャッチする）感覚は脳の栄養素で、豊かな感覚は脳の発達に重要な役割を果たしています。
体や感覚が著しく発達する幼児期に、手先を使ったり様々な体の使い方をしたりすることで感覚を鍛えることができます。
文字だけを見るととても難しいことのように感じますが、日頃から幼稚園やご家庭でしていることが全て感覚統合につながっています。
教材や遊びを通して子どもたちが全身を使って遊ぶ姿をご紹介します。
また、今後の通信でも感覚統合に触れて子どもたちの様子を伝えていきたいと思います。

③感覚統合は積み木を積み上げるようなもの



読み書きなどの教科学習や言葉の遅れ、手先の不器用さなどの目に見えやすい問題は、ピラミッドの頂点部の問題です。

その土台になっている5つの感覚（特に**触覚・前庭覚・固有覚**）、運動面へのアプローチこそが重要になります。

夏休みにたくさんの教材をつくりました。

子どもたちが体を動かすことを楽しんだり、自分の体を大切にできるようにと、発達に応じた教材をつくりましたのでご紹介します。

【保健指導】

4,5 歳児は歯磨き指導を行いました。
歯ブラシの使い方が分かるように、大きな口の「カバコさん」と一緒に歯磨きです。

【３歳児】

青虫のあおちゃんが「お腹がすいたよ。」
とあか組にやってきました。
お腹がいっぱいになるように、ご飯を食べさせてあげていました。
『投げる』という経験ができるように考えました。

ゲームボックスで作った大きな山の滑り台。登ったり、バランスを取りながら足を回したり全身を使いながら遊んでいます。

【４歳児】

積み木で作った「跳び箱」です。跳んでみたり４つを合わせてベンチにしたり、子どもたちが遊び方を考えています。

ひまわりに向かって「玉投げ」です。場所によって玉が入る大きさや入った時の音が違うので、わくわくしながら玉を投げています。

【５歳児】

水や砂が入っているダンベルで気持ちも体も準備運動をしています。「こんなに重いのが持てたから腕が鍛えられたわ。」と運動遊びに向かう子どもたちのやる気が上がります。

「ふたつも持ったら震えたわ！」